



群馬大学 (群馬県)

日本語・日本文化、教育学、情報学を学び、地域社会の視点から日本の文化を考察する。

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

1) 特色と歴史

群馬大学は1949年に設立。東京から北西に約100kmに位置し、共同教育学部、情報学部、医学部、理工学部、生体調節研究所、附属図書館、医学部附属病院、グローバルイニシアチブセンター等の学部等で構成している。

共同教育学部は、グローバルに物事をとらえながら、未来社会を支える人間を育成するために、人間の発達と成長を主な対象として教育の目的、方法、および内容などについて理論的・実践的な教育・研究を進めている。共同教育学部には、教員養成を主たる目的とする課程があり、4系・13専攻に分かれながら、深い専門性と実践的な指導方法を身に付ける。

情報学部では、科学技術と人間社会の調和が求められる持続可能社会の実現において、情報を基軸とした文理横断型の教育により、Society 5.0を支え、IoT、ビッグデータ、統計的解析手法等のスキルを持ち、人文科学、社会科学、自然科学の知識を有した人材を育成する。

グローバルイニシアチブセンターでは、留学生のための日本語・日本事情科目を開講し、学習相談を実施している。また日本研究のため「日本美術演習」「邦楽器演習」という実践科目も履修でき、総合的に日本理解ができるプログラムが用意されている。

2) 教員・学生数等 (2024年5月1日現在)

教員数: 850人

学生数: 学部 5,032人、大学院 1,313人

② 国際交流の実績

留学生在籍数: 240人 (20カ国 1地域)

(2024年5月1日現在)

海外の大学との交流協定: 125件 (30カ国 1地域)

(2024年5月1日現在)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生 (日研生) の受入れ実績

2024年: 留学生数240人、日研生7人

2023年: 留学生数222人、日研生4人

2022年: 留学生数223人、日研生4人

④ 地域の特徴

関東平野の北に位置し、美しい山々に囲まれ、温泉も多く、1年を通じて四季折々の自然豊かな景色・産物が楽しめ、東京近郊から電車で約2時間ほどである。

一方、外国人が急増し、その多文化共生のため様々な活動を群馬大学が実施し重要な役割を果たしている。

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

a) 主に日本事情・日本文化に関する研修

② 研修・コースの特色

本学では日本語・日本文化研修プログラムを通称「Jプログラム」として、日本語の能力や技能を高めながら、日本を研究対象とする諸研究を行うのに必要な知識を身につけることを目指す。プログラム期間中に行われる諸活動に参加することで、日本語や日本文化、日本社会についての理解を深めることができる。

本人の希望する専門分野により、共同教育学部又は情報学部のいずれかの研究室に所属し、更なる日本語能力の向上を図りつつ、専門性をより高めることを目的としている。

また、例年、当プログラムが行われる荒牧キャンパスには多数の交換留学生在籍しており (2024年度は6協定校から9名)、日本語能力試験N1レベルや大学院レベルの交換留学生もあり、短期留学生が多様なレベルで存在している。

そのため、交換留学生のための日本の伝統文化を学ぶプログラムも用意されており、日本画、邦楽 (箏、三絃) の実技を専門家から学ぶ機会もあり、日本文化をより深く学ぶことが出来る。

③ 受入定員

7名 (大使館推薦3名、大学推薦4名)

④ 受講希望者の資格、条件等

1) 一般的な会話や読み書きができ、専攻する科目について日本語による授業科目の内容を理解できる者。CEFR・B2レベル相当、日本語能力試験N2以上相当であることを求める。

2) 日本語・日本文化に関する分野を専攻する者。

⑤ 達成目標

修了時に、日本語で研究論文を作成し、自分の研究について口頭発表や質疑応答ができるようになること。

- ⑥ 研修期間（在籍期間）
2025年9月下旬～2026年9月下旬
（2025年10月1日～2026年9月30日）

- ⑦ 奨学金支給期間
2025年10月～2026年9月

- ⑧ 年間行事・年間スケジュール
9月下旬 渡日（予定）
10月 新入学留学生受入式
オリエンテーション
留学生相談会
チューターオリエンテーション
留学生特別健康診断
12月 各学部留学生懇談会
1月 伝統文化実践科目邦楽演奏会
3月 茶道、書道、華道の伝統文化体験
4月 全学健康診断
7月 留学生研修旅行
8月 Jプログラム研究報告会
伝統文化実践科目邦楽演奏会
9月 Jプログラム研究論文提出
9月下旬 帰国

邦楽器演奏



日本美術演習



⑨ コースの修了要件

- コースの修了要件は以下のとおり。コース修了者に修了証書を発行する。
- ・必修科目60時間、選択科目300時間以上を受講すること。
 - ・課題研究について、コース期間の終わりにプレゼンテーションを行い、論文を提出すること。

授業の種類		第1期(10-3月)	第2期(4-9月)
日本語	選択 10コマ	4コマ(120時間)または8コマ(240時間)	
学部・教養教育科目		6コマ(180時間)または2コマ(60時間)	
Jプログラム日本入門 特別講義*1	必修 2コマ		1コマ(30時間)
課題研究(個別指導)*2			1コマ(30時間)

*1: 「Jプログラム日本入門特別講義」: 「日本における研究」をテーマに、学内教員によるオムニバスの特別授業(協力教員14名/半期)

*2: 課題研究は指導教員による論文指導である。第2期の終わりにプレゼンテーションをして、論文を提出しなければならない。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

Jプログラムは、日本語の能力や技能を高めるだけでなく、日本を研究対象とした諸研究を行うのに必要な知識や実社会でも役立つ日本語・日本文化に関するさまざまな知識を身につけることを目指す。また、期間中に行われる諸活動に参加することによって、日本語、日本文化、日本社会についての理解を深めることができる。修了時に、日本語で研究論文を作成し、自分の研究について口頭発表や質疑応答ができるようになることがこのプログラムの目標である。

2) 研修・コース開設科目

授業は原則として、前期・後期各15週開講する。日本語、日本事情、伝統文化実践科目、学部・教養科目から履修する。

I) 必須科目(2コマ、60時間) 「Jプログラム日本入門特別講義」と「課題研究(個別指導)」

II) 選択科目(10コマ、300時間)

II-1) 教養教育「日本語・日本事情科目」(以下の科目から選択する)

科目名	学期	時間数	授業内容
日本語口頭表現	秋・春	60	聴解・会話、発表演習
日本語表現文型	春	60	文型の意味を理解し、運用することを目指す
日本語総合	秋	30	正確な日本語の運用を目指す
日本語読解	秋・春	60	専門書読解、要約・作文練習
日本語文章作成	秋・春	60	レポート・論文作成
日本語作文	秋・春	60	文章表現、レポート作成
日本語聴解	春	30	聴解・会話、発表演習
日本事情A	春	30	日本文化論講座
日本事情B	秋	30	日本の政治・社会
邦楽器演奏	秋・春	各60	箏・三絃演奏
日本美術演習	秋・春	各60	日本画演習

II-2) 共同教育学部と情報学部で開設される専門科目の授業、教養科目授業から選択する。

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加できる科目及びその具体的な内容
特になし

<見学>

年に1回、留学生と日本人学生合同で、近隣県の研修旅行（1泊2日）を予定している。その他、日本美術演習の一環で、東京や千葉、県内の美術館等への日帰り見学を定期的に行う。



<地域交流>

群馬県内の小学校や中学校から国際理解講座の授業への留学生派遣依頼に応え、Jプログラムの学生が積極的に訪問している。



留学生研修旅行



また、前橋市国際交流協会が実施するホスティングプログラムへの参加、講師としてイベントへの派遣など、地域住民との交流も活発に行っている。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

1年生対象の教養教育科目「日本事情」では文理さまざまな日本人学生とグループワークを行う。また所属する学部での演習等で日本人学生と議論できる。

⑪ 指導体制

1) コーディネーター：野田岳人教授

2) 指導体制：

学部の指導教員とグローバルイニシアチブセンターの教員が、研究指導及び修士研究のための指導を行う。その他、グローバルイニシアチブセンター教員（生活相談を含む）やチューターの日本人学生が日本語学習や日常生活の支援する。

■宿 舎

キャンパスから4km離れたところに単身用23室を有する群馬大学国際交流会館があるが、状況によっては満室の可能性もある。入居できない場合は、原則日研生のために、キャンパスに近い民間アパートを準備する。おおよそ30,000円/月程。その他、公共料金（電気、ガス、

水道、インターネット、携帯電話）が10,000～20,000円/月程必要となる。同時期に来日する交換留学生用のアパートと同様の扱いを行う。

■修了生へのフォローアップ

Jプログラム修了生のデータベースを作成する。また、日本への大学院進学などについて、助言・相談を実施する。



国際共修（日本人学生と留学生の混成クラス）の授業風景

■問合せ先

<担当部署>

群馬大学学務部海外交流課

住所 〒371-8510

群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地

TEL +81-27-220-7637（直通）

FAX +81-27-220-7630

E-mail intl-office@ml.gunma-u.ac.jp

<担当教員>

グローバルイニシアチブセンター 教授

野田 岳人

E-mail nodat@gunma-u.ac.jp

<ウェブサイト>

群馬大学ホームページ

<https://www.gunma-u.ac.jp/>

群馬大学グローバルイニシアチブセンター

（学生交流）ホームページ

<https://www.guic.gunma-u.ac.jp/>